

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステラNEXT			
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	帰りの送迎時、学校からの申し送り事項、事業所での様子等を口頭にて丁寧に説明を行っている。児童の様子、状況について保護者と共有しやすい関係を構築する事で、保護者からも伝えやすい環境が作れている	利用時の様子、活動内容をLINEで細かく伝え、写真も添える等して、伝わりやすいよう工夫している。LINEで伝える際、課題となる点だけでなく、出来た事もしっかり伝え、児童本人、保護者共に自信が持てる内容にも着目している。また、帰りの送迎時には保護者へ口頭にて申し送りを行う事でコミュニケーションを取りつつ、信頼関係を築けている	現状を継続し、保護者との更なる関係性構築を行い、相互の信頼関係を深めていく。LINE、口頭では、保護者に伝わりやすい、わかりやすい工夫を行い、各々の様子が的確に伝えられるよう努めていく。家庭での様子もしっかりと聞き、必要に応じて朝礼で確実に共有していく
2	活動プログラムは、スタッフ全員で話し合い、固定化しないよう作成している。特に長期休み(夏休み等)は事業所で過ごす時間が長くなる為、多くの工夫を行っている	毎月、スタッフミーティングにて活動プログラムの内容を話し合っている。当該月の前後の状況や、児童の取り組み具合等を考慮し、児童全体が飽きない様、楽しみながら参加できるような新しい活動を考え、積極的に取り入れている。長期休みは色々な経験ができる様、児童の希望・要望を聞きながら活動プログラムに取り入れている	児童の反応が良かった活動、楽しみながら学びに繋がった活動、成長を伸ばせる期待の高い内容について、事業所のみならず法人全体で共有していく。その中でも特に効果的な内容はステラ、ステラNEXTの両事業所で取り組み、長期的な成長を促していきたい
3	児童それぞれの特性把握のアセスメントを的確に行い、得意分野を伸ばし、不得意分野に対しては活動プログラムや作業療法士による専門的支援を通してスモールステップで取り組んでいる	個別支援計画、専門的支援実施計画を作成する際、課題や短所のみならず、強み、得意分野、長所にも着目し、更に伸ばしていける内容を取り入れている。不得意な点については、児童本人・保護者としっかり話し合い、取り組みやすい内容を設定している。得意・不得意の両面に対するアプローチを通して、児童の成長を保護者と一緒に共有している	現状を確実に継続し、更にサポートの質の向上、幅が広がっていけるようスタッフそれぞれの研鑽に努めていく。児童本人、保護者、家庭と更なる関係構築を図り、様々な場面における児童本人の問題解決能力、レジリエンスを高めていけるサポートを行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の訓練を実施しているが、アンケートによる保護者の意見の中に「わからない」が複数回答があった	法人全体、事業所毎に6月(地震・津波)、12月(火災)に非常災害の訓練を実施している。実施した内容は、送迎時の申し送りやLINEで伝えているが、年に2回なので、保護者に対する印象が薄く、覚えていないのではと感じる	現状の6月(地震・津波)、12月(火災)の非常災害の訓練だけでなく、更に複数回で取り組んでいく事を検討。取り組んだ内容について、保護者への共有を方法を更に工夫していく
2	ペアレントトレーニング等の実施	事業初年度もあり、どのようなペアレントトレーニングを実施したら良いか、模索の段階で止まってしまい実施まで進めずじまま。保護者に対して外部研修の発信しているが、法人や自事業所で児童の成長、特性に対してペアレントトレーニング等を実施する必要がある	年齢や発達段階、個々の特性に応じた専門家による外部研修が実施される場合は、保護者へ積極的な発信を行っていく。スタッフも自己研鑽の為、外部研修に積極的に参加していく。得た知識、技法を元に社内での職員研修や自事業所でのペアレントトレーニング実施に活用していく
3	父母の会、保護者会の目的も兼ねて、児童、保護者、スタッフが交流できる場として、「親子バーベキュー会」の開催を行ったが、参加している保護者の中には父母の会、保護者会の認識が持てていなかった	法人全体、ステラ、ステラNEXTの合同で11月に親子バーベキュー会を開催したが、保護者の中にはレクリエーションの一環として認識されていたようで父母の会、保護者会の認識が持ってもらえていなかった。周知の方法に工夫が必要と感じた	年1回の親子バーベキュー会だけでは、参加の有無に偏りが出てしまう。不参加の場合は父母の会、保護者会の認識を持ってもらいたい。参加の場合においても、認識してもらえるような周知方法や内容の工夫が必要。また、次年度からは父母の会、保護者会の拡充を行っていく。7月は親子バーベキュー会、1月は懇親会、活動報告会、作品展を実施予定